

この時期、アフガニスタン女性が受けた苦難について、紛争による自らの死や外傷と身体的後遺症、夫や父親、兄弟など家族の男性の死や外傷とそれによる障害、あるいは夫などの行方不明による生活困難、避難に伴う障害、難民キャンプなどにおける強姦、その他の身体的精神的暴力などの報告があるが、全容を知るに足るものはない。

3. 1989年ソビエト連邦軍撤退から、1996年タリバーンのカブール制圧まで

1989年2月、ソビエト連邦軍はアフガニスタン撤退を完了し、イスラム政権樹立を意図した反政府ゲリラ集団による首都カブール攻略が始まったが、(元共産政権秘密機関長官、医師でもあった) ナジブラ大統領は、ソビエト連邦軍が残した豊富な武器と資金をもとに政権維持を図った。ソビエト連邦軍という共通の敵を失い、カブール攻略に失敗したゲリラ集団は次第にまとまりを失い、派閥抗争に明け暮れるようになった。加えて、1990年8月に発生したイラクのクウェート侵攻の際、ゲリラボス7名中3名がサダム・フセインを支援し、西側支援は急減した。カブールでは恐怖政治が徹底し、新たに難民化する人々も現れた。急激に国際社会の関心が薄れたアフガニスタン国内とパキスタンなどの難民キャンプの状況は、まさに、「難民の苦難は、援助者が去った時に始まる」状態となった。女性や子どもに限らず、紛争で障害を受けた人、高齢者を含む弱者への支援は皆無に近い地域やキャンプがあったという情報もある。

1991年8月、ソビエト連邦で政変が起こり、同年12月、ソビエト連邦が崩壊、翌年4月、後ろ盾を失ったナジブラ大統領は絞首刑となり、その死体は1週間、公衆の目に曝されてカブールの共産政権は消滅した。しかし、その後を継いだゲリラ連合政権は内紛を繰り返し、アフガニスタンは次第に無政府状態に陥った。武力で権力を握ろうとする軍閥が割拠し、民族的な親近性から、周辺諸国の干渉も強まり、中央政府の権威が消失したこの時期、地域の如何を問わず、女性が出歩くことは極めて危険であったといわれている。当時、アフガニスタン内で活動していたアフガニスタン人 NGO スタッフによれば、わずかに数キロ離れた地域に移動するのに、10に近い通関税の取立場所があり、逆らうことは生命の保障のないことであったという。

タリバーンとは、イスラム神学生を意味する。イスラムの休日である金曜日、モスクでは、近くの人々がイスラムの教えを学ぶマドラサ(学校)が開かれる。パキスタン在住の難民の中から、先に述べたような無法化したアフガニスタンの状態を改善しようとした動きがタリバーン誕生につながったとされている。最初の大きな出来事は、1994年、アフガニスタン南部のカンダハールで、武装一味に襲われた少女を保護したことに始まるといわれている。

タリバーンの女性抑圧政策と、テロリスト・グループとされるアル・カーイダとの連繋はよく知られているが、当初タリバーンは、無法地帯化したアフガニスタンに秩序を取り戻し、武力に任せて好き放題の軍閥を取り締まろうとしたことも事実である。しかし、元来、未熟な組織であったタリバーンは、全国制覇の過程で、再び結合して

対抗するゲリラ集団(後の北部同盟)など新たな対立勢力や地域権力者との取り引き、更には好むと好まざるにかかわらず生じてきた外部社会との交渉を通じて、次第に独善的な歪みを露わにした。

もともと保守的傾向が強かったタリバーンは、最初から女性の就業・就学、行動の自由を制限していた。と同時に、社会の西洋化も禁じ、男性の民族衣装着用と30センチのあごひげを蓄えることを命じ、ラジオ・テレビでの音楽、芸術鑑賞も、男性といえども、半そでショートパンツでのスポーツの禁止などを指示し、これらの規律を厳格に守ることにおいて治安維持を図った。つまり、男女を問わず、規則を破るものは、殴打、鞭打ち、収監、あるいは破廉恥罪などは公開の場で、イスラムの掟によって処刑した。当然、窃盗、殺人なども重罪に処せられたため、ある時期、治安が回復したことも事実である。

1997年9月、EUの人道援助部門のアフガニスタン調査団によるタリバーンの女性抑圧報告に続いて、同年11月、国連事務総長ジェンダー問題特別顧問アンジェラ・キング氏(女性)を団長としてアフガニスタンの女性と女児の状況調査が行われ、ここにタリバーンの特異な女性政策が国際問題となった。キング調査団の報告によれば、アフガニスタンのジェンダー開発指数(GDI)^{*}は、国連開発計画「ジェンダーと人間開発」1995に示されているように130ヶ国中最低であり、一人の女性が20回以上の出産を経験する例もあり、妊産婦死亡は世界第2の悪さ、女児の識字率は4%、女性の保健サービスは著しく制限されているとし、多数のアフガニスタン女性との対話から、最も深刻な問題は貧困と教育の欠如であると述べている。当時、カブールで女性に門を開いていた病院はたったひとつであったが、同調査団に参加したWHOの抗議により、4病院が追加されたとしている。WHOは、その後、最初カブール内の、後には国内の保健医療施設の女性スタッフ数とベッド数を含む女性用保健サービスの現状を調査すると共に、保健医療における女性差別の排除に努めたと報告されている。

タリバーン支配下のカブールでは、すべての保健医療サービスや教育が質的にも量的にも十分でなかったことはいうまでもない。タリバーンの対女性行動制限布告は、その中で、外部社会が最も重要視する分野に対する取り引きの材料とするように、強化されていったきらいもある。

このような厳格な規制は、イスラムとも伝統ともいえないまま、恐怖政治の形で人々の中に浸潤したが、タリバーン化を恐れる周辺国の反タリバーン勢力支援、更には外部社会の反発をも招き、タリバーンが首都を制圧した後も、国際社会の認知は限られたまま、タリバーンの孤立化が深まった。

*ジェンダー開発指数(GDI) 女性と男性の間の不平等に着目し、基本的能力の達成度を測定する指数。具体的には、平均寿命、教育水準(成人識字率と就学率)、調整済み一人当たり国民所得を用い、これらにおける男女間格差ペナルティーを割り引くことにより算出。

1997年以降、国連やNGOで働くアフガニスタン人女性の行動が制限され、ついで国連、NGOのモスLEM女性への制限が加わり、1998年後半には、非モスLEM（つまりイスラム教信者でない人）であっても、アフガニスタン内では、女性の単独行動や就業が禁じられるなど、女性の行動制限そのものが国際問題化した。2000年以降、アフガニスタン内外で、タリバーンへの批判は増大した。この間のアフガニスタン内女性の保健医療や地位に関する信頼すべき数字はないが、例えば、The Afghan Women's Mission など、いくつかの女性グループが活動を開始したことは、単に、抑圧されていただけでなく、時機を待っていたたくましいアフガニスタン人女性の息吹を感じさせるものといえる。

タリバーンの対女性政策と2001年9月11日の同時多発テロを起こしたとされるアル・カーイダとの結びつきは、直接関係するものではないが、結局、国際社会をすべて敵にまわすという点では共通の結果をもたらした。

表 アフガニスタンの保健指数

	1960	1980-85	1990-92	1995-2000
	北・ソ侵攻前	北・ソ侵攻時	無政府状態	タリバーン時代
5歳未満児死亡率 / 千出生	360	268		257
乳児死亡率 / 千出生	215			165
平均寿命 (歳)	34			45
女性の対男性平均余命 %	-			102
粗死亡率 (千人口)	30			21
粗出生率 (千人口)	52			52
低出生体重児 %	-			20
妊婦の破傷風接種率 %	-		3	3
合計特殊出生率	-		6.9	6.6
妊産婦死亡 / 10万妊娠	-		1700	1800
識字率 男 % (※1)	-	33		47
女 %	-	6		15
小学就学率 男 % (※2)	14		46	
女 %	2		16	

UNICEF 世界子ども白書、WHO 資料、アメリカ大使館資料などから喜多悦子委員が作成。

※1 識字：日常生活に必要な読み・書き・計算能力を持つこと。

※2 小学校1学年への入学率。

6 官邸アフガニスタン復興支援調査合同ミッション報告書

官邸アフガニスタン復興支援調査合同ミッション
（「対外関係タスクフォース」「アフガニスタンの女性支援に関する懇談会」）
Joint Survey Mission on Afghanistan Reconstruction Assistance
平成14年3月11日～18日

アフガニスタンの女性支援に関する懇談会

会長 原ひろ子（放送大学教授）

委員 喜多悦子（日本赤十字九州国際看護大学教授）

I アフガニスタン訪問記録

2002年3月12日～3月

0. 全体として、訪問した3つの都市の市場には活気があり、人々の表情は明るかった。復興と開発に関しては、アフガニスタンの政府・NGO、国際機関、他の国の政府・NGO、日本のNGOとの調整を行いつつ、適切かつ粘り強い支援が必要であると考える。

1. カブール地区

1-1. 財務省

東京会議への謝意を表明し、今後の予定、問題点などを述べた。

ヘダヤト・アミン・アルサラ財務大臣によれば、

日本やUNDPの支援により、

① 国家財政を建て直すこと、

② 滞っている国家公務員の俸給を支給すること、

③ 開発のフレームワークを早急に策定すること、

また、日本やUNICEFの支援により、

④ 3月23日の新学期には180万人の子どもを復学させること、を目指しているが、加えて、アフガンの国家復興には、

⑤ 主要産業である農業の復興が重要であり、その支援を依頼した。

女性に関して、

⑥ 新たに女性課題省を設置したことを強調した。

問題としては

⑦ 治安維持が最優先されるとし、

⑧ まだ、軍隊や警察体制は整備されていないと述べた。

1-2. 緊急ロヤ・ジェルガ召集のための特別独立委員会

イスマイル・カゼミヤ委員長は、ロヤ・ジェルガの意義、歴史を解説し、6月に予定されている会議は、アフガニスタン内のすべての民族がこれを支持していること、16%の女性を含む全代表の割り当ても既に遂行しており、今後

は、具体的な人選に入ると表明した。

1-3. 女性課題省

シマー・サマル大臣不在のため、サフイーク・ヤーキン副大臣に面接したが、美容院、造花製作・じゅうたん製作プロジェクト、図書館充実などの支援要請はあったが、国家再興にかかわる女性の役割に関する話題には到らなかった。

1-4. 公衆衛生省

スハイラ・シディーク大臣に面接したが、本来外科医であり、カブール市内の大きな外科病院院長であったためか、医療施設や機材の修復や消耗品の補給への期待は表明されたが、保健制度などを含む行政面の情報はほとんど得られなかった。

官庁の印象

面談した男性大臣、委員長の説明はよどみなく流暢であり、服装、態度を含め、多分に西欧志向のように見えた。おそらく、過去20年以上のアフガンの紛争時代の間もどこか外国に避難場所を持っていたものと思われるが、このようなエリート層が、非都市部のさまざまな民族が住む地域の実態や諸問題をどの程度正確に把握し、また、配慮しようとしているのか、いささかの疑問が残った。

一方、女性課題省は、建物はあるものの、設備、機材、また、人材を含め、きわめて不備であり、ここを拠点に関与を行うには、まず専門家派遣により、周到的な情報収集の必要があることが予測された。また、公衆衛生省でも、新たな大臣が任命されたものの、実質的な権限は以前からの官僚の手にある上、行政経験のない女性が大臣であることもあって、今後の支援計画を進める際のキーパーソンを見極めることが重要であると思われた。

いずれにしても、女性の視点による国家再興は、上級職に女性が就いたことや、通学する女性が増えただけでは解決しない。20年にわたる内戦による影響は大きい。それ以前からの女性の活動範囲を越えたものが生まれるまでには、広範で長期にわたる支援が必要である。

1-5. ワジル・アクバル・カーン病院

突然訪問したため、女性外来待合のみを見学。

1980年代、90年後半に比し、患者数は多く、容態によっては、男性医師が女性を診察することも多いという。外来部門には、見るべき、医療機器はなかったが、内戦中、ほとんど破損していた窓ガラスが修復されて、水道や電気も機能していたころから、かなり復旧支援があると思われた。

1-6. マラライ病院

カブール随一の産科病院。1989年、難民帰還を前提に、UNICEFスタッフ

として喜多がはじめて支援を決定した施設だったが、タリバーン時代には、廃屋に近い状態でもあった。窓や扉は修復され、暖房も稼動。患者数は多くない。

消耗品の補給など、UNICEF の支援は継続されているが、今後、特に、リプロダクティブ・ヘルスの基幹施設として、診断治療の質の向上と標準化、また、教育訓練機能をいかに拡充するかが問題となる。また、その際、長期にわたる支援経験を持つ、UNICEF など他援助機関との調整が重要となる。

医療施設の印象

内戦時の悲惨な状態は、わずか数ヶ月で解消したように見えた。まだ、施設も機材も資材補給も不十分であり、技術的にも十分でないことは確かだが、女性を含め、少なくとも、ある範囲のカブールの住民は自由に通院できる環境に到っていることは確認できた。着実な発展のためには、急がず、やり過ぎず、中断せず、諦めない支援体制を維持することであろう。急激なレベルアップは破綻をもたらさずであろう。

1-7. カブール地区国連機関

UNDP、WHO、UNICEF などのアフガン復興支援計画の解説をうける。国連内では、1997 年来、アフガニスタンのジェンダー問題は重要事項であったため、すべての機関で配慮されているが、UNICEF は、教育、保健、ジェンダーを一体化している感じをうけた。他は、それぞれの特性に基づく説明であり、アフガニスタン特有のものではなかった。

1-8. カブール地区 NGO (ACBAR)

1980 年代にペシャワールで始まったアフガン支援 NGO (と、後には国連) の連合調整機関である ACBAR のカブール事務所での会議。

それぞれの NGO の計画が説明されたが、未だ、治安が安定せず、援助資金の流入はなく、地方展開も制限されているためか、いずれの活動ぶりも低調な感じを受けた。全体として資金援助の要請が強い印象。

国連・NGO の印象

1980 年代末、旧ソビエトがアフガニスタンから撤退した頃の爆発的な援助合戦の雰囲気はない。当時のように、外部援助機関が過剰に活動していないことは、post-conflict (紛争後) 支援が成熟したためか、単に資金不足のせいか、見極めがたかったが、少なくとも、アフガニスタンの受け入れ機関・組織・NGO・地域が消化不良を起こしていないことは確かのようにあり、わが国も、このようなペースを混乱させない関与を行うべきであろう。

1-9. アブダル・ハディ・ダウィ学校 (1-12 学年)

ほとんど何もない。前述の二医療施設に比し、修復は遅れている。しかし、就学の熱は高く、複式、時には三部式の授業が行われている。教育は、教師が

読む、書くものを反復するだけだが、ほとんどの生徒が、ノートや鉛筆を持っていることは、かつて比較的援助が行きわたっていた難民キャンプよりは良い状況。机や椅子がないことも、この国の大多数の初・中等学校で見られることでもあり、数校に十分な支援を行うのか、全国的に浅く広く学校支援を拡大するのか、支援の内容を決定する際に、よく吟味すべきであると感じた。

学校の印象

学校とは建物なのか、教師の質なのか、生徒の数なのか・・・途上国の学校を見るたびに悩む。カブールの学校は、アフガニスタンの地方のそれに比べると、随分、立派な建物が多い。女性の教師も多数見られたが、教育の内容をどのように評価すべきか、また、カブールー主都の支援か、全国展開か、問題は多い。

UNICEF などの Back to School Campaign の成果は大きいと感じた。

1-10. 地雷除去

数箇所の、異なる地雷除去活動を見学した。紛争地域が、真に安全になり、発展してゆくためには、地雷除去は必須の支援であることは事実である。しかし、広範な地域の地雷を徹底的に除去することは、途方もない経費と労力を要することも事実である。したがって、どの地域を優先的に mine free にすることが、効果的か、適正な判断が必要である。

2. ジャララバード地区

2-1. ATC 地雷除去活動

1 のカブール地区と同様である。

2-2. パシャールシャヒ国内避難民キャンプ

国境を越えていない避難民のキャンプ。アフガニスタンの人々が、一定個所に居住し始めると、通常、数ヵ月後には建て始める土を練り上げた住宅が見られないことからして、滞在期間はかなり短いと思われる。テント、食糧と水など、最低限の日常生活への支援は、UNHCR、WFP などの国連や NGO によってまかなわれているが、体系的な保健医療援助やキャンプ全体の予防衛生活動は行われていない。パキスタンからの帰還者を含め、目的の居住地に到る前の、ごく短期間の滞在地である。

本格的教育や訓練、また、保健医療体制を拡充することは難しいが、周辺地区との連繫を確立することは必要。

2-3. ジャララバード地区国連機関・NGO

カブール地区に比べ、さらに規模の小さい活動が多い。緊急人道援助と特化するより、上記避難民キャンプを含め、地域全体の長期開発計画が必要であり、

緊急から開発への連繋を持った活動を目指している NGO があることは妥当であると考える。

2-4. ジャララバード大学（構内の正面玄関付近のみ）

2-5. ジャララバード郊外のダム

機能的な解説はなかったが、本来、アフガン東部第一の街として、また、パキスタン経由の交易の中心地でもあった様子がうかがえた。ハズラット・アリ司令官は、このダムの再建を重視していると察せられた。

2-6. ガファールジャララバード市長

ジャララバード市の中心部に女性用の公衆トイレを設置することにより、女性の外出可能時間を2時間から4～6時間に延ばすことができる。そのことによって女性の収入創出活動、職業訓練、識字訓練などへの参加が可能になると力説された。

3. ヘラート地区

3-1. IOMによる難民・国内避難民キャンプ

アフガニスタン西部のヘラートは、多民族都市カブールとは異なり、古来、単一の権力者によって護られ、イランに親和性をもつ伝統のある地域である。現在も、イスマイル・カーン知事の武力を伴う権威がすべてといえるが、カルザイ議長の暫定政権を支持する姿勢を示している。

ここでは、第一線の難民・国内避難民保護を行っているが、本来、IOMは、難民がさらなる居住地を求めて移民移住する際の支援をする国際機関であり、なぜ、数年以上も前から、約30万の居住者を擁するキャンプを支援しているのか不明。

世界の医師（Medicine du Mond）が保健施設を設置中。

3-2. アンサリ地区病院

ヘラート市内にあるが、アフガン西北部4州をカバーする270床の地域病院。しかし、電気、水はなく、見るべき医療機材もなく、交通事故などへの応急対応に終始している現状。

3-3. ヘラート地区国連・国際機関（UNOCHA）

UNICEF、UNDP、UNHCR、WHO、WFP、ICRCなどと面談。紛争よりも低開発のせいと思われる事態への対応が主体。

3-4. CDAP

UNOPS 支援のハンディキャップ女性のための小さな縫製・刺繍訓練所で、

地域のシューラと連携した支援。先天性の異常、ポリオの後遺症、また、紛争による外傷後の障害などを受けた女性が訓練を受けつつ商品を作成している。地域的な効果はないが、障害をもった女性の自立を支援するユニークな計画。

3-5. アミール・アリミル・ナワンジ学校（1-12学年）

ヘラート市内の学校。修復とともに、仮設教室を増設中。現在、男子3000名、女子2500名を収容しているが、当然、複式授業かつ野外教室もある。今まで就学できなかった、したがって、かなりの年齢の女性を含め、多数者が基礎教育を受けていた。

カブール同様の問題があり、教育支援の際、ヘラート市内に限極集中した支援を行うか、広域に広げるかの検討を要する。

3-6. 専門家シューラ

2001年12月に自発的に発足した非武装の職業横断的グループ(会員総数800人、内35%は女性。UNHCRが支援している。)のうち13名(内2名が女性)と面談。非武装の専門家のため力がまだ弱いこと、金融、農業、法律、土木、建築、印刷、出版、医療、文学、歴史、その他の専門的職業に従事する人々が数年にわたり専門的活動から遠ざかっていたので、その知識・技能の基盤を再整備し復興・開発に参画する必要があると強調していた。

3-7. ヘラート大学(学長・医学部長、教務部長など)

特に医学部の建物と設備の整備・充実の必要性が訴えられた。

II. 日程

- 3月11日 成田発（PK853）
イスラマバード着 イスラマバードマリオットホテル泊
- 3月12日 イスラマバード発（国連定期便）
カブール着、駒野欽一臨時代理大使出迎え
空港にて 暫定政権外務省 Deputy Minister に会談、岡本団長挨拶
市内視察
昼食（マルコポーロ レストラン）
イスマイル・カゼミヤ 緊急ロヤ・ジェルガ開催のための特別独立委員会委員長と会談（於 独立委員会事務所）この間、中座して、
サフィークヤーキン女性課題省次官と会談（於 女性課題省）
ヘダヤト・アミン・アルサラ副議長兼財務相と会談（於 財務省）
国際NGOs と会談（於 ACBAR 事務所）
駒野臨時代理大使主催夕食会（於 ヘラート レストラン）
Sabir Latifi Guest House 泊
- 3月13日 WHO アフガン事務所訪問 アブディ・モーミン・アメド担当官と面談
ワジール・アクバル・ハーン外科病院（女性外来）視察
マラライ（母子）病院視察
昼食（マルコポーロ レストラン）
スハイラ・シディーク公衆衛生大臣、A.・マアリジ カブール医学研究所小児科主任と会談（於 公衆衛生省）
国連諸機関と意見交換（中途参加 於 UNDP 事務所）
カブール空港地区の地雷除去活動視察（MDC<Mine Action for Afghanistan、NGO）
地雷犬訓練センター視察（同）
記者団などと懇談
夕食（高橋UNSMA政務官同席、於 大使館事務所）
Sabir Latifi Guest House 泊
- 3月14日 アブドゥル・ハディ・ダヴィ学校（1～12学年）視察（UNICEF
アフガン事務所長同行）
カブール空港発（国連チャーター便）
ジャララバード着、アーセフ州知事代理、ハズラット・アリ司令官、
カーデェルニングラハール州知事子息出迎え
昼食（アーセフ州知事代理主催、於州知事公邸）
ジャララバード空港地域地雷除去活動視察（ATC、UNDP/日立）
バシャーラシャヒ避難民キャンプ視察

国連諸機関および NGOs との意見交換（於 UNDP）
夕食（ハズラット・アリ司令官主催、ガファール ジャララバード
市長同席於 スピン ガール ホテル）
スピン ガール ホテル泊

3月15日 ダムおよびジャララバード大学外観視察（ハズラット・アリ司令官
同行）
ジャララバード発（国連チャーター機）
ヘラート着・・・出迎え
昼食（UN 主催、於 UNICA 事務所）
マスラック IDP<Internally Displaced Person、国内避難民>キャ
ンプ視察、ヒューバート・ピノン IOM フィールドスタッフ
同行）
夕食（UNOCHA 主催、於 UNICA 事務所）
HABITAT ゲストハウス泊

3月16日 エンゲル地区オルカ村クラスター爆弾不発弾処理活動視察（OMAR）
ハジ・アブドゥラ・アンサリ病院（女性外科病棟）視察
昼食（UNICA）
国連諸機関と意見交換（於 UNICA）
UNOPS/FAO 活動視察 地域シューラと意交換（原）
UNOPS 活動 障害者支援活動（CDAP/ARRP）視察（喜多）
イスマイル・ハーン ヘラート州知事と会談
夕食（イスマイル・ハーン州知事主催、於州知事ゲストハウス）
HABITAI ゲストハウス泊

3月17日 アミール・アリシル・ナワンジ学校（1～12 学年）視察、アジズ・
サーイ ヘラート州教育省女性部門副部長、UNICEF 同行
ヘラート プロフェッショナル シューラと意見交換（於
UNHCR）
ヘラート大学学長、医学部長らと面談（州ゲストハウス）
ヘラート発（国連定期便）

イスラマバード着
駒野臨時代理大使と合流
イスラマバード発（PK 8 5 2）

3月18日 成田着

WHO Kabul main office
Kabul city Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func status	Bed cap		Doctors		Nur/MW		Pharmacists		X ray T6		Lab Tec		Vacc		Sup staff		Total		
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M
1 Ali abad hospital	District 4	MoPH	Poor	170	70	39	7	38	13	4	0	5	0	5	0	0	0	48	8	139	28	
2 Antani hospital	District 2	MoPH	Poor	35	35	10	3	14	7	2	0	1	0	4	2	0	0	19	6	50	18	
3 Alaturk hospital	District 3	MoPH/ACF,ACF,T urk govt	Fair	100	100	15	0	24	6	3	0	2	0	3	0	0	2	7	20	54	28	
4 ARCS hospital	District 11	ARCS	Fair	75	75	13	5	14	8	1	0	1	1	2	0	2	0	22	10	55	24	
5 Emergency hospital	District 10	Italian Emergency	Good																	0	0	
6 Female & child hospital	District 10	MoD	Fair	0	100	4	6	0	48	0	2	2	0	1	3	0	2	6	12	13	73	
7 Ibn-e Sina chest hospital	District 1	MoPH	Poor	70	70	0	15	0	20	0	2	0	2	0	2	0	0	24	0	65	0	
8 Ibn-e Sina Emergency hospital	District 1	MoPH	Poor	60	60	0	19	0	22	0	3	0	3	0	5	0	0	28	0	80	0	
9 Indra Gandhi Child H. hospital	District 10	MoPH/ACF,ACF,H F	Fair	150	150	67	12	41	46	2	4	3	2	10	0	0	2	102	55	225	121	
10 Jamhoriyat hospital	District 2	MoPH	Poor	90	90	36	0	41	4	4	0	6	0	12	0	0	0	67	1	166	5	
11 Karte se 50 bed hospital	District 6	MoPH/HOPE	Poor	20	30	7	1	10	1	2	0	0	0	2	0	0	2	7	7	28	11	
12 Karte se surgical hospital	District 6	MoPH/ICRC	Good	182	68	14	0	60	21	2	0	4	0	7	0	0	0	88	13	175	34	
13 Khair khana hospital	District 11	MoPH/MSF	Poor	10	42	11	5	6	9	2	0	1	0	1	1	1	2	11	5	33	22	
14 Malalay Maternity hospital	District 4	MoPH/Unicef	Fair	0	250	4	41	0	41	1	3	1	1	1	5	0	2	25	55	32	148	
15 Maiwand hospital	District 1	MoPH/ACF,ACF,M RCP,MedAir	Fair	150	150	40	15	49	15	3	0	4	0	5	0	0	2	69	13	170	45	
16 Mental Health hospital	District 1	MoPH	Poor	25	25	11	4	8	4	1	1	0	0	0	0	0	0	13	5	33	14	
17 Nazo ana Maternity hospital	District 10	Private	Good	0	20	2	5	0	6	0	1	0	0	0	2	0	2	1	1	3	17	
18 Noor Eye hospital	District 1	MoPH/IAM	Poor	30	20	13	5	14	6	2	2	1	1	4	1	0	0	14	5	48	20	
19 Paraplegic Center	District 1	MoPH	Poor	25	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13	0	19	0	
20 Qowa-e Markaz hospital	District 2	MoD	Poor	150	50	19	1	23	17	7	0	2	0	4	0	4	0	10	6	69	24	
21 Rabia Baikhi Female hospital	District 2	MoPH	Fair	0	250	6	62	0	75	0	4	1	2	1	6	0	2	9	77	17	228	
22 Shino zada hospital	District 9	Private	Good	25	25	2	2	2	2	1	0	2	0	1	0	0	0	4	0	12	4	
23 Stomatology hospital	District 2	MoPH	Poor	10	10	42	21	4	0	1	0	1	0	1	0	0	0	24	6	73	27	
24 Wazir Akbar Khan hospital	District 10	MoPH/ICRC	Fair	230	70	75	10	73	20	3	1	7	0	9	0	0	83	18	250	49		
25 Central blood bank	District 1	MoPH/WHO	Poor	0	0	1	0	1	0	18	2	0	0	10	10	0	24	2	54	14		
26 Central Laboratory	District 1	MoPH/AMI,WHO	Poor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	4	0	0	7	0	31	4	
27 Malaria & parasitic Dis. Institut	District 6	MoPH/WHO	Fair	6	4	2	1	1	0	2	0	0	0	13	13	0	0	48	2	66	16	
28 TB National Institute	District 1	O	Fair	0	30	8	3	2	5	2	0	1	0	0	0	0	0	15	3	28	11	
29 Radiology Institute	District 1	MoPH/WHO	Poor	0	0	2	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	12	0	27	0	
30 Environmental Health dept	District 10	MoPH/WHO	Poor	0	0	15	0	30	20	9	0	0	0	10	0	13	8	29	0	106	28	
31 Jamal mena clinic	District 3	MoPH/ACF	Fair	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	6	1	10	5	
32 Khoshal mena clinic	District 5	MoPH/MDM	Fair	0	0	1	2	0	2	0	1	0	0	12	0	2	0	2	3	17	8	
33 Mirwais maidan clinic	District 5	MoPH/MDM	Fair	0	0	1	2	0	3	1	0	0	0	1	0	0	2	3	5	6	12	
34 Dast-e Barchi clinic	District 6	MoPH/MSF	Fair	0	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0	4	0	6	2	16	3	
35 Karte se clinic	District 6	MoPH/IAM	Fair	0	0	0	3	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	15	0	24	7
36 Safarat clinic	District 7	MoPH	Poor	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	6	2	2
37 Doghhabad clinic	District 7	MoPH/MS/ACF	Fair	0	0	1	2	1	2	0	1	0	0	1	0	0	2	3	5	10	5	
38 Agha Ali Shams clinic	District 7	MoPH/ACF	Fair	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	7	4	
39 Wasel Abad clinic	District 7	MoPH/MDM	Fair	0	0	2	1	0	2	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	6	5	
40 Behzad clinic	District 1	MoPH/ACF	Fair	0	0	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	7	3	
41 Rahman Mena clinic	District 8	MoPH/MS	Poor	0	0	1	1	1	4	1	0	0	0	1	0	1	1	2	2	7	6	

Health Facility	Location	Sup agency	Func. status	Bed cap.		Doctors		Nurr/MW		harmacia		X ray.Te		Lab Tec		Vacc		Sup staff		Total			
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
42 Micro Rayon clinic	District 9	MoPH/TDH	Fair	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3	3	10	
43 Qala-e Zaman khan clinic	District 16	MoPH/MDM	Fair	0	0	0	1	1	0	3	1	0	0	1	0	0	1	0	1	3	4	8	
44 Arzan Qimat clinic	District 12	MoPH	Poor	0	0	0	2	1	4	5	0	1	0	0	1	0	2	0	3	1	12	8	
45 Pute Charahi clinic	District 16	MoPH/ORA	Fair	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	7	0	
46 Qasaba Clinic	District 15	MoPH	Poor	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	2	1	3	3	8	
47 Khwaja Boghra clinic	District 15	MoPH/MSF	Fair	0	0	0	2	0	4	0	1	0	0	0	1	0	3	1	1	1	1	12	
48 Proja-e Jaded clinic	District 11	MoPH/ACF	Fair	15	15	1	2	0	2	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2	3	8
49 Char Qala-e Wazir Abad clinic	District 10	MoPH/ACF	Poor	20	20	1	1	1	0	3	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	3	7
50 Parwan-e se clinic	District 4	MoPH/HOPE	Poor	0	0	0	0	3	0	3	2	0	0	0	1	0	0	2	2	3	5	11	
51 Faizee aam clinic	District 4	ArabNGO/HOPE	Good	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3	6	6	
52 HNI Anti Leishmania clinic	District 15	HNI/WHO	Fair	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	4	4	
53 Kola Pushta clinic	District 4	IAHC/ACF?	Fair	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	3	5	
54 Aria clinic	District 10	HTAC	Fair	0	0	0	1	2	0	3	0	1	0	0	0	2	0	2	6	4	7	14	
55 PMS Jap Dasht-e Barchi clinic	District 6	PMS	Fair	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	
56 PMS Qala-e Zaman khan clinic	District 16	PMS	Fair	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	
57 Todai Japan clinic	District 1	TODAI	Fair	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	4	10	4	16	
58 Bibi Mahro clinic	District 9	RRD/ACF	Fair	0	0	0	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	5	
59 Beni Hesar clinic	District 8	RRD/ACF	Fair	0	0	0	1	1	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	3	1	7	6	
60 Beni Hesar C1 clinic	District 8	SCA	Fair	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	3	0	8	2	
61 Company clinic	District 5	SCA/ACF	Poor	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4	2	
62 Deh Qabel clinic	District 6	SCA/ACF	Fair	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	2	1	8	3	
63 Deh Dana clinic	District 7	SCA	Fair	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	3	0	17	3	
64 Jarchi clinic*	District 7	SCA	Fair	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	3	
65 Istalef clinic*	District 11	SCA	Poor	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4	1	
66 Kalakan clinic*	District 15	SCA	Fair	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1	7	3	
67 Mirbachakot clinic*	District 15	SCA	Fair	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	5	3	
68 Qala-e Wazir clinic	District 6	SCA/ACF	Fair	0	0	0	2	1	3	1	1	0	0	0	1	0	2	0	3	0	12	2	
69 Chelsetoon clinic	District 7	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	1	1	2	1	2	3	8	
70 Deh Bory clinic	District 5	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
71 Deh Khodaidad clinic	District 9	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	10	1	1	
72 Kart-e Parwan clinic	District 4	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
73 Khair khana clinic	District 15	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	2	8	
74 Khoshalkhan clinic	District 5	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	8	1	
75 Rahman Mena clinic	District 8	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
76 Qala fauliah clinic	District 10	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
77 Taimani Clinic	District 4	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
78 500 Family clinic	District 11	ARCS/IFRC	Fair	0	0	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	2	9	9	
SUB-TOTAL				1648	1699	529	264	538	472	97	41	63	27	170	55	66	71	925	412	2388	1322		
Grand Total				3347	3472	793	793	1010	1010	138	57	197	24	223	11	137	137	1337	571	3710	3710		

NB

1. WHO is supporting with trainings, medical and equipment supplies to almost all above mentioned MoPH facilities which are not supported by other agencies.
2. In addition to above mentioned health facilities, there is one big military hospital with almost 600 beds and around 800 staff and also another hospital belongs to ministry of interior affairs with 250 beds and almost 300 staff.
3. The health facilities of SCA with the asterisks are temporarily located in Kabul city where IDPs are scattered and in IDPs camp in X soviet union embassy.

WHO Kabul main office
Kabul district Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func status	Bed cap		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		Vacc		Sup staff		Total			
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
1 Bagrami clinic	Bagrim	MoPH	Poor	0	0	3	0	2	0	1	0	0	0	1	0	3	0	5	2	15	2		
2 Shewaki clinic	Bagrim	MoPH	Poor	5	5	4	0	4	1	1	0	0	0	1	0	2	0	5	2	17	3		
3 Kaman clinic	Bagrim	RRD/ACF	Fair	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	5	5		
4 Husain khil clinic	Bagrim	SCA	Fair	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	2		
5 Qalal Ahmad Khan clinic	Bagrim	RRD/ACF	Fair	0	0	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	6	6		
6 Charasyab hospital	Charasyab	MoPH/WHO	Fair	10	10	3	0	2	2	1	0	0	1	0	2	0	4	0	13	2			
7 Charasyab clinic	Charasyab	SCA	Fair	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	3	0	8	2			
8 Musae clinic	Charasyab	SCA	Fair	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	8	1			
9 Qalal Loqman clinic	Charasyab	SCA	Fair	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	7	1			
10 Tangi sayedan clinic	Charasyab	MoPH	Poor	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	9	0		
11 Charasyab clinic	Charasyab	MOPH/CHA	Fair	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	7	2		
12 Deh sabz clinic	Deh Sabz	SCA	Fair	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	3	0	7	4		
13 Deh sabz clinic	Deh Sabz	MoPH	Poor	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	8	0		
14 Khak-e jabbar clinic	Khaki Jabar	SCA	Poor	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	7	0		
15 Chandal bahee clinic	Paghman	MoPH	Poor	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	8	1		
16 Paghman H.center	Paghman	MoPH/WHO	Fair	6	4	2	0	5	0	2	0	0	1	0	4	0	7	0	21	0			
17 Zargaran(farza) clinic	Qarabagh	MoPH	closed	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0			
18 Qarabagh hospital	Qarabagh	MoPH	closed																				
19 Karz-e mire clinic	Shakar Dara	SCA	Fair	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	8	0		
20 Shakardara clinic	Shakar Dara	MoPH	Poor	0	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	10	0		
21 Qala-e Murad big clinic	Shakar Dara	MoPH	Poor	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0			
22 Husain kot clinic	Shakar Dara	SCA	Fair	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	2		
23 Sorobi hospital	Sorobi	MoPH	Fair	5	5	2	0	2	2	2	0	0	2	0	2	2	3	1	13	5			
24 Sorobi clinic	Sorobi	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0		
25 Tizin khas clinic	Sorobi	ISRA	Fair	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	9	0		
26 Khanano kalay clinic	Sorobi	ISRA	Poor	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0		
Sub Total				26	24	32	8	49	16	22	0	0	0	11	1	36	6	62	7	212	38		
Grand Total				50	50	40	8	65	16	22	0	0	0	12	1	42	12	69	7	250	38		

WHO Kabul main office
Kapisa Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func status	Bed cap.		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MLHW		Vaccinator		Sup staff		Total	
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
1	Qurootak clinic	SCA	Poor	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	5	1
2	Jamchi clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1	0	0	1	0	6	1
3	Zaghgrin clinic	ARCS	Fair	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	0	13	1
4	Oshtergram clinic	SCA	Poor	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	0	8	3
5	Khwaia Murad hospital	MoPH/ICRC Em	Fair	10	10	4	1	3	0	2	0	0	0	3	0	9	1	1	2	16	2	38	6
6	khwaia Murad Feeding cent	ACF	Fair	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	3	2	6	7
7	Qatai Sahra clinic	MoPH	Poor	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	8	1
8	Kolola Oshtergram clinic	MoPH	Poor	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	1	9	2
9	Guibahar hospital	MoPH/ICRC, MSF	Fair	40	20	11	0	28	3	2	0	2	0	3	0	1	4	2	0	47	5	96	12
10	Guibahar Orthopedic center	ICRC	Fair	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	15	0	18	1
11	Qatal naw clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	3	0	6	1	
12	Haji khil clinic	MoPH	Poor	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	10	1
13	Shepy clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	2	0	6	1
14	Roza khil clinic	SCA	Fair	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	0	12	1
15	Qurqhal clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	3	0	2	2	9	5
16	Paryan clinic	MoPH/AMI	Fair	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	2	0	4	0	9	2
17	Safed sher clinic	MoPH/AMI	Fair	5	5	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	3	2	2	6	0	13	6	
18	Shaba clinic	MoPH/AMI	Fair	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3	2	0	4	1	9	4
19	Dasht-e Rewat clinic	MoPH	Poor	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	6	0	
20	Chamaghzak clinic	MoPH/AMI	Fair	2	1	1	0	2	0	1	0	0	1	0	1	3	2	0	6	0	14	3	
21	Changaran clinic	MoPH/Emer	Fair	20	10	2	0	3	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	7	0	16	0	
22	Bazarak clinic	MoPH/SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	3	2	0	4	0	13	3
23	Rokha Hospital	MoPH/ICRC,MS F,SCA,AMI	Fair	25	15	1	2	6	4	1	0	0	0	3	0	6	3	2	0	20	2	39	11
24	Shotol clinic	MoPH/MSF	Fair	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4	0	9	0
25	Anaba clinic	MoPH/MSF	Fair	5	5	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	2	0	4	0	11	1
26	Anaba feeding center	ACF	Fair	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8	1	8	3
27	Tawakh feeking center	ACF	Fair	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8	1	8	3
28	Dashtak mobile clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	5	0
Sub Total				113	169	23	3	59	15	22	0	3	0	14	0	53	38	27	4	185	17	386	77
Grand Total				182	266	26	6	74	15	22	0	3	0	14	0	91	31	31	4	202	17	463	77

WHO Kabul main office
Parwan Health facilities Manpower Information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func status	Bed capacity		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MHW		Vaccinator		Sup staff		Total	
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
1 Bazar clinic	Charikar	SCA	Fair	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	6	2
2 Baayan feeding center	Charikar	ACF	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	3	1	10	5
3 Baayan clinic	Charikar	SCA	Fair	0	0	1	1	1	2	1	0	0	1	0	2	6	0	0	2	1	8	10	
4 Kalachai Sokhta clinic	Charikar	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4	3	0	0	2	0	10	3	
5 Charikar hospital	Charikar	MoPH, Emer	Fair	20	20	7	1	17	4	3	0	2	0	3	18	0	0	0	0	20	3	70	8
6 Charikar first aid post	Charikar	Emergency	Fair	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9	0
7 Salang clinic	Salang	MoPH, AMI	Fair	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	4	2	2	0	3	0	14	3	
8 First aid post	Salang	Emergency	Fair	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0	
9 Bagram clinic	Bagram	SCA	Fair	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	2	0	9	0	
10 Ghulam Ali first aid post	Bagram	Emergency	Fair	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	
11 Kohisafi EPI team	Kohisafi	MoPH, UNIC	Fair	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	
12 Sare House clinic	Jabalusaraj	MoPH, AMI	Fair	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	1	6	2	0	2	2	8	10	
13 Monara feeding center	Jabalusaraj	ACF	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	5	0	7	8	
14 Said Khil BHC	Jabalusaraj	MoPH	Poor	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	2	0	4	0	13	0	
15 Said Khil C2 clinic	Jabalusaraj	SCA	Poor	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	5	0	
16 Inka clinic	Sorkh Parsa	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	7	4	
17 Dehane Shingaran clinic	Shekh Ali	Ibn Sina	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0		
18 Balaghil clinic	Ghorband	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	6	4	
19 Seyagird clinic	Ghorband	Ibn Sina	Fair	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	1	2	0	8	2	
20 Chardehi clinic	Ghorband	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3	0	2	0	1	0	7	3
21 Seyagird clinic	Ghorband	MoPH	Poor	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	9	0
22 Ostor Shar	Shinwari	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3	2	0	2	0	9	3	
23 Qaghshal clinic	Shinwari	Ibn Sina	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	5	0
Sub Total				20	20	16	4	56	9	17	0	2	0	8	58	43	20	1	62	8	239	65	
Grand Total				40	40	20	4	65	9	17	0	2	8	66	101	43	21	70	70	304			

WHO Kabul main office
Logar Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func status	Bed capacity		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MHW		Vaccinator		Sup staff		Total		
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M
1 Public Health hospital	Puli Alam	MoPH/Unicef	Fair	20	10	6	1	7	1	1	0	0	0	2	0	1	2	2	2	8	2	27	8	
2 ARCS clinic	Puli Alam	IFRC	Good	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	6	3	
3 Porak clinic	Puli Alam	SCA	Good	0	0	1	0	4	1	1	0	0	0	1	0	3	4	0	0	2	0	12	5	
4 Baboos clinic	Puli Alam	SCA	Good	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	2	0	1	0	9	1	
5 Padjwab-e shana clinic	Puli Alam	SCA	Fair	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	1	0	7	2	
6 Mohd Agha central clinic	M. Agha	SCA	Good	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	1	0	2	4	2	0	2	0	11	6	
7 Zarghoon shahr clinic	M. Agha	SCA	Good	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	2	1	2	0	1	0	9	3	
8 Sorakhab clinic	M. Agha	ANAR	Poor	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	
9 Aab-bazak clinic	M. Agha	AREA	Poor	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	
10 Pule Qandahari clinic	M. Agha	MoPH	Poor	0	0	1	0	6	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	14	0	
11 Baraki 52 bed hospital	B. Barak	MoPH/AMI	V. good	30	30	5	3	15	2	1	0	2	0	1	0	3	1	2	0	1	21	2	46	8
12 Baraki barak clinic	B. Barak	SCA	Good	0	0	1	0	4	0	1	0	0	0	1	0	2	1	2	0	1	1	13	2	
13 Shah Mazar clinic	B. Barak	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	
14 Sarcheshma clinic	B. Barak	ISRA	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	2	0	13	2	
15 Argon clinic	Charth	SCA	Good	0	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0	2	4	2	0	1	0	9	4	
16 Pingram clinic	Charth	SCA	Good	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	6	1	
17 Bakhshi clinic	Khanwar	MoPH/Unicef	Poor	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	9	2	
18 Khoshi BHC	Khoshi	NPO	Good	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	1	5	2	
19 Akbar khel clinic	Azra	ISRA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	7	1	
20 Kaswal clinic	Azra	ISRA	Fair	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	1	7	1	
21 Mangal clinic	Azra	ISRA	poor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	0	
22 Sang-e Baran clinic	Azra	ISRA	Poor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0
Sub Total				50	90	40	25	58	13	17	0	2	0	16	1	27	23	27	3	56	8	228	53	
Grand Total				90	130	58	17	71	13	17	0	2	0	17	1	50	23	30	64	8	281	53		

WHO Kabul main office
Wardak Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Location	Sup agency	Func. status	Bed capacity		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MLHW		Vaccinator		Sup staff		Total		
				M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M
1	Maidan Shabar hospital	MoPH	Poor	15	10	1	0	8	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	2	7	2	20	4	
2	Kotal Ashrow clinic	MoPH, Ibn	Fair	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	2	1	8	4
3	Charband clinic	SCA	Poor	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	7	0
4	Sha Qalandar clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	4	1	0	0	2	0	10	1	
5	Chack hospital	GPHA	Good	25	25	8	2	10	2	3	0	1	0	2	0	8	0	2	1	15	2	49	7	
6	Araban clinic	SCA	Fair	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	3	1	2	0	2	0	10	3	
7	Sibak clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	5	1	
8	Said Abad C2 clinic	SCA	Fair	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	8	1	
9	Said Abad C2 clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	1	0	6	1
10	Shaikh Abad clinic	IFRC	Fair	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	6	0	16	0
11	Shniz hospital	MoPH, LDI	Good	20	20	3	2	3	3	1	0	2	0	2	0	3	0	2	1	11	2	27	8	
12	Tangi C1 clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	7	0	
13	Shash Qala clinic	CoAR	Fair	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	2	1	9	5
14	Dandokai clinic	CoAR	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5	0
15	Said Abad BHC	MoPH	Not Fun	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	0	10	1
16	Jaghata Markaz clinic	AMD	Fair	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	8	2
17	Jaghata Mangali clinic	SCA	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	0	9	0
18	Jaghata Saadat Khil clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	8	0
19	Jaghata BHC	MoPH	N Func	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	8	0
20	Jalriz BHC	MoPH	N Func	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	8	0
21	Jalriz Markaz clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	1	0	9	1
22	Zewalat clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	0	10	0
23	Nerth BHC	MoPH	N Func	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	4	0	12	1
24	Nerth Durant clinic	SCA	Fair	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	3	1	2	0	2	1	11	3	
25	Omar Khil clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	0	10	0
26	Tangi Saidan hospital	LDI	Fair	15	15	2	0	4	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	6	1	18	1	
27	Miran clinic	SCA	Fair	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	0	10	1
28	Frakhlom clinic	Ibn Sina	Fair	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	2	1	2	1	10	4
29	Tizak clinic	Ibn Sina	Poor	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	
30	Tagab hospital	Shuhada	Good	15	15	3	1	2	1	1	0	1	0	1	0	9	1	2	1	7	2	26	6	
31	Raqul clinic	Ibn Sina	Fair	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	1	2	0	2	0	9	2	
32	Sang Shanda clinic	MSF	Fair	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	7	0	
Sub Total				90	85	41	12	51	13	34	0	5	0	26	0	84	11	39	7	93	14	373	57	
Grand Total				175	175	53	64	64	64	34	5	5	26	26	95	46	107	46	430	430				

WHO Kabul main office
Bamyan Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Sup agency	Func status	Bed capacity		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MLHW		Vaccinator		Sup staff		Total		
			M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M
1 Bamyan city MCH clinic	Ibn-Sina	Good	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	6	1	2	1	10	5
2 Bamyan hospital	MoPHMSF	Planned																				0	0
3 Kahmard MCH clinic	Ibn-Sina	Good	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	5	0	2	1	10	3	
4 Shibar Mobile clinic	AMI	Fair	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1	8	4	
5 Saighan Mobile clinic	AMI	Fair	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1	8	4		
6 Yakawlang hospital	Shuhada	Destroid	15	15	3	1	4	2	1	0	1	0	1	0	0	0	8	0	8	2	26	5	
7 Yakawlang TB center	Lepco	Destroid	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	7	1
8 Punjab clinic	ACF	Good	10	6	1	0	4	1	1	1	0	0	1	0	1	2	6	1	11	2	25	6	
9 Punjab TB center	Lepco	Good	10	10	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	7	1	
10 Punjab Health post	ACF	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	
11 Waras clinic	ACF	Good	4	3	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	1	8	1	8	2	22	5	
12 Waras TB center	Lepco	Good	10	10	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	7	2	
Sub Total			49	44	10	9	18	9	9	10	1	0	8	0	2	5	37	5	48	13	133	36	
Grand Total			93	88	13	10	27	10	10	10	1	0	8	0	7	42	61	61	29	169	75		

WHO Kabul main office
Part of Urozgan and Ghor porvinces Health facilities Manpower information, December 2001

Health Facility	Sup agency	Func status	Bed capacity		Doctors		Nur/MW		Pharmacist		X ray Tec		Lab Tec		MLHW		Vaccinator		Sup staff		Total	
			M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
1 Shahrestan clinic	ACF	Good	6	4	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0	1	2	4	1	11	2	22	6
2 Shahrestan Health post	ACF	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0
3 Shahrestan Health post	ACF	Fair	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0
4 Shahrestan TB center	Lepco	Good	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5 Daikundi clinic	ACF	Planned	0	0																		0
6 Lal Sarjantal MCH clinic	IAM	Good	6	4	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	6	4	2	2	3	6	16
7 Lal Sarjantal clinic	Shuhada	Good	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1
8 Lal Sarjantal clinic	Shuhada	Good	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1
9 Lal Sarjantal TB center	Lepco	Good	12	10	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	9	0
Sub Total			24	18	3	2	10	5	2	1	0	0	3	0	6	8	3	24	5	51	24	
Grand Total			42	30	5	2	15	7	3	3	0	3	3	0	9	11	29	29	75	75		

地球環境 ハンドブック

《第2版》

不破敬一郎・森田昌敏——編著



朝倉書店

編著者

不破敬一郎 東京大学名誉教授
森田昌敏 (独)国立環境研究所研究部門統括研究官

編集委員

森 行 秀 国連環境計画GEF局ポートフォリオマネージャー
一 國 雅 巳 東京工業大学名誉教授
玉 浦 裕 東京工業大学炭素循環エネルギー研究センター教授
野 尻 幸 宏 (独)国立環境研究所地球温暖化研究プロジェクト
富 永 健 炭素循環研究チーム総合研究官
東京大学名誉教授
土器屋由紀子 江戸川大学社会学部教授
原 島 省 靖 (独)国立環境研究所水と土壌環境研究領域
森 川 靖 早稲田大学人間科学部教授
石 井 信 夫 (財)自然環境研究センター研究事業部研究主幹
大 坪 国 順 (独)国立環境研究所水と土壌環境研究領域副領域長
藤倉まなみ (財)地球環境センター事業部長
安 部 喜 也 元 東京農工大学農学部教授
渡 邊 和 夫 (財)地球環境戦略研究機関コンサルタント